

科目名	社会福祉演習Ⅳ K					単位	2.0
担当教員	平澤 恵美						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	3247

●授業のテーマ

卒論・ゼミ論をまとめ、研究テーマからの学びを深める

●到達目標

それぞれの研究テーマにこだわり、設定した目標を達成するための過程をプロジェクトを通して体験する。自分の考えをまとめ、発表し、グループの中で議論することでプレゼンテーション力とコミュニケーション力を高める。そして、卒論・ゼミ論を完成させ、4年間の学びのまとめとする。

●学習内容(授業概要)

夏休み中に取り組んだ卒論・ゼミ論の構成に沿って、個人発表・個人指導を含めながら研究のまとめをおこなう。また、積極的に現場へ足を運ぶことにより学んだ視点を自分のなかで整理する。

ゼミの中では、研究のプロセスを通して学んだこと、感じたことを他者と共有することにより、お互いを支え合い・励まし合いながら卒論・ゼミ論をより良いものにしていく。各自の研究テーマは異なるが、発表を通して自分の研究を共有することにより、お互いに学び合う機会とする。

4年間の学びの集大成として、専門職として支援することの意味を考え、自分がどのような支援者として現場に向き合うべきか、まとめと振り返りをおこなう。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. オリエンテーション
2. 夏休みの課題報告(1)
3. 夏休みの課題報告(2)
4. 夏休みの課題報告(3)
5. 論文構成の確認(個人指導1)
6. 論文構成の確認(個人指導2)
7. 中間報告会(1)
8. 中間報告会(2)
9. 中間報告会(3)
10. プレゼンテーションの方法(1)
11. プレゼンテーションの方法(2)
12. 卒論・ゼミ論発表(1)
13. 卒論・ゼミ論発表(2)
14. 卒論・ゼミ論発表(3)
15. まとめと振り返り

●準備学習・事後学習の内容

各自の研究テーマに沿って、主体的に学ぶ機会としてゼミを活用する。発表の準備を計画的におこない、プレゼンテーションができるように資料も準備する。ゼミで学んだことを研究に反映できるように、自分の意見をまとめ、必要に応じて調査をすすめる。

●成績評価方法・基準

発表・ディスカッションへの参加状況 50%
レポート 50%

●テキスト（必携）

授業時に資料を配布する。

●参考文献／その他

授業時に紹介する。

●履修上の注意

積極的にフィールドへ足を運び、見て・感じて多くを学んでほしい。
卒論・ゼミ論の完成に向けて、計画的に取り組んでほしい。